

学校法人内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第 280 号
(7 月)
2026

対話活動と理解力の育ち

学校法人内丸学園 理事長 坂本 洋

地域恒例「チャグチャグ馬つこ」も終わり、当園の室内外では一段とにぎやかで活発な遊びが繰り広げられております。保育部の一、二歳児も広い園庭で走り回り、職員の手で滑り台にも挑戦し賑わっています。幼稚園部の子ども達はボール蹴り遊びやブランコ、そして砂場での遊びが佳境です。

さて当園における保育指導内容もいよいよ本格的になり、第一期の保育活動として各クラス共にその趣旨に添う教師の関りや声掛けに真剣に取り組む姿が見られ、特に子ども同士の対話的活動も多く印象的です。教師は活動内容を理解させ活発に行動してくれることを期待し、活動の導入内容をお話・説明をする場面が多くあ

ります。「わかりましたか？」全員が大きな声で「わかりました！」と答えてくれるのですが、幼児期の場合は必ずや意図と違う活動の「理解」「動き」の子が散見されます。教師は全員が同じ理解をしていると思っていますが、中にはお話を理解できずに「言葉として耳に入っているが、考えたり、判断できず単なる音や声」と聞いている場合があることを前提に注意深く見守る必要があります。幼児の発達段階での理解力の育ちでは、そのような過程を考えながらの対応が教師の重要な役割です。

理解力を育てることは、**発達における聞く、覚える、知る力**が先ず土台です。そのうえに考える力、判断する力が加わり、自分なりの

表現、意思の表出があつて、対話活動となり本来の理解力に合った活動、育ちが行われると考えられております。

ですから、理解力を育て強化することは、聞く・覚える・知る力の育ちが重要ですが、例えば、最近子育て相談に、どうもお話が聞けない、聞かないので困ると嘆かれる事例があります。

色々理由がありますが、乳幼児期での言葉がけの希薄、聞くことより話させることを重視、環境的にマスメディアの刺激が多く、しっかりと言葉として聞くことの関心が低い等々があり、言葉を聞くことの繰り返し、習慣が必要であることに気づきます。

また、覚える、知るについても、①見聞きしたことを心にとどめる（記憶する力）、②学んだり経験したりして身に付ける（習得する力）、体や心に感じる（感性の力）等がしっかりと身につくように関わることが、覚える、知ることへの営みになります。

当園としては以前より保育活動の根幹として、子ども同士の対話

的活動を中心にした、しっかりと理解力のもとに、何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになったか。そのことができるように使つて、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするかの指導を重視してきました。

本年度の園としての取り組みでは、上記の活動を中心とした保育活動の公開も予定しており、またそのような環境で育ち小学校へ接続している子どもたちの笑顔に触れる「卒園生の集い」を六月中旬に企画実施。年長児は学期末のお楽しみ会イベント終了。さらなる理解力の育ち活動に勤しんでおります。



年長クラス『聞く、話す、知る』

お楽しみ会

R8.7.4

クッキング♪

自分達で買った野菜を
剥いたり切ったり…
おいしくなれ♡

お外で食べる
カレーはとっても
美味しいね🍲

お楽しみ会に向けて、
3つのグループに分かれ
てグループ名を決めたり、
買い物に行ったりして、
当日を楽しみにしていま
した！

当日は、ドキドキワクワクしなが
ら登園し、29人全員で特別な
時間を過ごすことができました☆

お祭り

お祭り好きの子ども達
が多いので、幼稚園が
お祭り会場に大変身☆
5つのお店を
楽しみました！

保育参観 ご感想

6月に行われた幼稚園部の保育参観へたく
さんのご感想をいただいたのでご紹介しま
す！

参観日まで大好きなお家の人が幼稚園に来る
ことをワクワクして待っていた子ども達。当日は
一緒に遊んだり頑張りを覚えてもらったりでき
楽しい一日になったようです♪

・普段のあそびの様子や、先生や友達
とのかかわり方が見られて良かった
です。

・よく幼稚園で歌った歌やみんなとした
遊びを家でも実際にしてくれるのですが、今日の様子
を見て、こんな風に園ではやっているんだなあと、思
い、とても嬉しく感じました。

・親子で遊ぶ時間はとても楽しく、組み分けしたときに
友達のことを「〇〇君頑張れ！」と応援した姿に成長を
感じました。

Bクラス

・毎日の様子が知れたのと、毎日頑張
ってきているんだな～！と思って、こ
れからは毎日たくさんほめてあげたいと
思いました！（C1）

・自分なりに楽しく保育園で過ごせているんだなと嬉
しく思いました。（C1）

・朝てきぱきと片づけをしたり準備をしたり、たった二
か月ですが成長を感じることができました。（C2）

・幼稚園で過ごす様子が見られて良い機会でした。
（C2）

Cクラス

Aクラス

・色々なことができるようになってい
たことに、はっと気づき、体をいっば
い使いのびのび遊ぶ姿に親も楽しい時間
を過ごすことができました。

・園庭やホールでの遊びの様子を見ていると、遊びの
種類は子どもたちの創造力と同じように無限に広がっ
ているのだと感じました。

・保護者の方々とのお話もできて参考になる事や「あ
～、みんな同じなんだ」と少し安心することもありま
した。

卒園生のつどい

令和8年6月20日（土）に“卒園生のつどい”が開催され、小学校1年生から6年生まで118名が集まり、懐かしい幼稚園での時間を過ごしました。

久しぶりに会う先生や友だちに、最初は緊張した様子でしたが、全体での集会後、各学年に分かれ、近況報告やゲーム遊びを楽しむうちに、緊張もほぐれ、幼稚園時代と同じような笑顔があふれ、元気な声が園内に響き渡りました。「小さいイス!」「覚えているよ!懐かしい!」「お楽しみ会やったよね!」等、思い出を話している姿に、職員一同、子ども達の大きな成長に喜びを感じました。

幼稚園名物
“ジャンケン
スキップ!”
(3年生)

運動会を
思い出して…
(6年生)

★ 卒園生からの感想 ★

高橋慶伍くん（2年生）

そつえん生のつどいで、ほかの小学校に行った人と
ひさしぶりにあいました。あまりひさしぶりなかんじ
がしませんでした。イスとりゲームでは、かてなかつ
たけどドキドキして、たのしかったです。あいたかつ
たともだちが休みだったので、つぎはあいたいです。

田林明佳さん（3年生）

ようち園でひさしぶりに先生やお友だちに会えて
とってもうれしかったです。

フルーツバスケットでも、ほかのゲームでもみん
な明るく元気で、にこにこできてて、よかったな、と
思いました。

こうしたき会をくださり、ありがとうございます。

金谷優咲さん（5年生）

つどいのあんないがきたときからワクワク
していて、当日はなつかしい友だちた
ちとあえて、うれしかったです。とくに楽
しかったのは、バルーンが一番楽しかった
です。音楽にあわせてうごかしたのがおも
しろかったです。また、フリータイムの時
に友だちとゆきの先生とおおなわとびを
やったのも思い出です。来年からは手紙は
こないけどホームページを見て6年生に
なってもさんかしたいです。



7月16日(木)、「夢中になれる遊びの環境と援助」をテーマに、本園の公開保育が実施され、当日は、市内各保育園等から44名の参加者に日頃の保育を見て頂きました。公開保育に向け、昨年度から、指導計画の見直し、遊びの環境の見直しについて、職員間で話し合いを重ねてきました。

子ども同士が遊びを楽しめる空間、一人でじっくりと遊びを楽しむ場の確保、子どもへの声掛けや



援助のタイミング、子どもと一緒に遊びを楽しみながらも、子どもを見守る大切さ等、子どもの日々の成長や気持ちに寄り添いながら保育を行っていました。

子どものふとした気づきから広がる遊び、異年齢での関わりから生まれる遊び、家庭での経験から広がる遊びまで、子どもの興味・関心に寄り添いながら、夢中になれる環境づくりを考えてきました。

今後も、参加者からのご意見を参考にしながら、子ども達が「楽しい」と思える環境作りをしていきたいと思っています。

(文責・舟越恵子)



こどものつぶやき ～日常のエピソード～

🌧️ 涙の雨? 🌧️

雨が酷く降っていたある日のこと。絵を描いていたR君が唐突にぼつり。「ねえ、知ってる? 雨って神様が泣いているから降るんだよ」

驚いたTが

「じゃあ、今日は悲しいことがあったのかな?」

と聞くと、

「うん、そうかも。嬉しいときに泣いちゃうこともあるみたいだけどね。今日はお空に黒い雲があるし、いっぱい悲しくなっちゃったからいっぱい雨が降ってるんだよ」

素敵な感性を持っているR君でした!

🐜 アリの助け合い 🐜

園庭で動かなくなった大きなアリの小さなアリが運んでいた。その様子を見ていたSちゃん。

「死んじゃったのかな...? (小さなアリが) お墓作るんじゃない?」と少ししょんぼりしていました。

すると突然ピクリと動き始めた大きなアリ!

Sちゃんは「小さなアリさんが頑張って運んだから元気になったんだね!」と嬉しそうに一言。

Sちゃんの優しい気持ちが表れていた一言でした🌸

〒020-0021

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

盛岡市中央通一六四七

TEL 六三二一三〇一

理事長 坂本 洋